

様式 10 別表（病院群の構成等）別紙理由書

病院名	焼津市立総合病院																			
プログラム名	焼津市立総合病院卒後臨床研修プログラム																			
二次医療圏	志太榛原保健医療圏																			
病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設が同一の二次医療圏を越えている理由																				
<table border="1"> <tr> <td>二次医療圏</td><td>協力型病院名</td><td>病院施設番号</td></tr> <tr> <td>静岡圏域</td><td>静岡県立総合病院</td><td>030378</td></tr> </table> （理 由） 県内の中心的な病院として多くの診療科が揃い指導体制が充実し、当院では症例の少ない診療部門・領域まで研修することが可能であり、隣接した二次医療圏にあるため。また、静岡県立総合病院からの医師派遣や当院からの高度医療受け入れ先としての医療関係が構築されているため。 <table border="1"> <tr> <td>二次医療圏</td><td>協力型病院名</td><td>病院施設番号</td></tr> <tr> <td>静岡圏域</td><td>静岡県立こころの医療センター</td><td>030382</td></tr> </table> （理 由） 同一の二次医療圏にある藤枝駿府病院にて研修を行っているが、他院の臨床研修プログラムからも研修医を受け入れているため、初期臨床研修医数増加によって、藤枝駿府病院では受け入れ可能枠が不足した。そのため精神科研修先をさらに確保する必要が生じたため。 <table border="1"> <tr> <td>二次医療圏</td><td>協力型病院名</td><td>病院施設番号</td></tr> <tr> <td>西部</td><td>浜松医科大学医学部附属病院</td><td>030394</td></tr> </table> （理 由） 県内唯一の大学附属病院として多くの診療科が揃い指導体制が充実しており当院、同一の二次医療圏及び隣接した二次医療圏では症例の少ない診療部門・領域を研修することが可能となっているため。また、浜松医科大学医学部附属病院に対して指導医及び上級医の派遣を仰いでおり、医師の交流がさかんであるため。			二次医療圏	協力型病院名	病院施設番号	静岡圏域	静岡県立総合病院	030378	二次医療圏	協力型病院名	病院施設番号	静岡圏域	静岡県立こころの医療センター	030382	二次医療圏	協力型病院名	病院施設番号	西部	浜松医科大学医学部附属病院	030394
二次医療圏	協力型病院名	病院施設番号																		
静岡圏域	静岡県立総合病院	030378																		
二次医療圏	協力型病院名	病院施設番号																		
静岡圏域	静岡県立こころの医療センター	030382																		
二次医療圏	協力型病院名	病院施設番号																		
西部	浜松医科大学医学部附属病院	030394																		

二次医療圏	臨床研修協力施設名	病院施設番号
西部	浜松市国民健康保険佐久間病院	076533

(理 由)

当院の初期臨床研修医数増加により、それまで地域医療の研修先としていた同一の二次医療圏の研修協力施設の受け入れ可能枠が不足し、地域医療研修先を確保する必要が生じたため。また、当院は県中心部に隣接した地域であるのに対して、佐久間病院では近年重要視されている医師不足地域（へき地）における地域医療研修を行うことができるため。

二次医療圏	協力型病院名	病院施設番号
静岡圏域	静岡赤十字病院	030382
中東遠	掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター ー	030387

(理 由)

当院で不足している内科系症例経験等について協力型病院へ派遣することにより、将来、内科専門医さらにはサブスペシャリティを志望する研修医が初期臨床研修中に経験すべき内科疾患研修の充実を図る。

当院二次医療圏と隣接した二次医療圏にある静岡赤十字病院及び掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センターは、自動車での移動時間が当院から片道 1 時間以内の地域である。静岡赤十字病院は、当院に非常勤医師として診療に来ていただいている医師も多く以前から関係が強いため。さらに、中東遠総合医療センターとは、相互に内科後期専門研修の連携病院となっており、研修医の派遣を含めた関係を既に築いているため。